

小野寺幸恵・渡辺
富岡

満・工藤
隆・原
良一
啓司

日本共産党市議団

▼代表質問 小野寺幸恵 議員

◆ブラックアウトについて

ブラックアウトは、厚真火力発電所が国家プロジェクトとして進めてきた東



部開発の工業用電源として巨大化してきたこと、一方で国のエネルギー政策の転換により原発が推進されてきましたが、福島原発事故により泊原発が停止し、厚真発電所に一極集中化してきたことが要因であることを指摘。分散化の重要性と再生可能エネルギーへの転換を求めました。

◆外国人労働者について

出入国管理法が成立しましたが、低賃金・長時間労働など外国人の労働環境が劣悪であることが問題となっていることを示し、苫小牧での外国人労働者の事態を調査するよう求めました。

◆漁業法改正と漁業振興

70年ぶりの漁業法改正で、漁業権の優先順位が廃止されて、知事の裁量に任されることから、企業の参入が心配されています。港管

理組合管理者である市長と知事が協議し、地元漁業者を守る立場に立つよう求めました。

◆身寄りのない高齢者の対応

身寄りがなく保証人がいないために施設入所を拒否された高齢者の事例を紹介し、「入院の際も困っているケースがある」と、市の対策を求めました。

また、身寄りがいないことを理由に墓じまいを考える高齢者が多いことから、無縁墓の増加を抑えるために、墓じまい補助制度の創設を提案しました。

◆駅前イルミネーションについて

今年から始まる駅前イルミネーションについて、今年のテーマを「復興のともじび（被災3町の復興と駅前の復興）」と位置づけ、3町からも来てもらうイベントの実施を提案しました。

▼一般質問 工藤 良一 議員

◆停電時の透析患者などの対応

胆振東部地震で、人工透析患者が停電時に必



要な治療を受けることができたのか現状を質問し、患者への連絡や病院間連携の重要性を求めました。また、在宅酸素療法を行なっている患者の現状を質問し、避難所に行かずに車から電源を確保していた事例を紹介し、今後の対応を求めました。

▼一般質問 原 啓司 議員

◆カジノを含む

外国人観光客を想定していたIRが、基本構



想では8割が国内観光客であることから、「ターゲットは市民と道民だ」と指摘。ギャンブル依存症は、家庭崩壊・家族離散につながり、子ども達が犠牲になることを述べ、「メリットがあったとしてもIR誘致はすべきではない」とただしました。

▼議案審議 富岡 隆 議員

◆PCBの対応について

平成12年から繰り返し調査を行ない、撤去作業を進めてきたPC

B（塩化ビフェニル）が、最近になって98個も見つかった問題で、「もう無い」といつていたはずなのに、なぜ出てきたのか」と質問、理事者の姿勢の甘さが露呈しました。この現状から、庁内横断的なチエック機能の重要性を提案しました。

▼特別委員会 渡辺 満 議員

◆軍事訓練について

平成30年9月に予定されていた日豪共同訓練は、胆振東部地震で中止になりましたが、今後の訓練について中止をしよう求めました。理事者は「臨時的な訓練であり常態化はしない」と弁明しましたが、さらなる日・米・豪の訓練が合意されています。「沖縄の負担軽減」を名目に行っている日米共同訓練の一方、訓練拡大は問題であることを強く指摘しました。

